

# 路面標示 作業手順 修正

準備工

施工

後片付け

内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 施工条件の確認	安全ミーティング日報による 指示書の内容確認  同時に複数の施工箇所がある場合はそれぞれの施工箇所ですべての防護の方法を確認。
中央破線施工(JIS型加熱) 車線規制設置 マーカー車、材料車、規制内流入 マーカー車、ラバコン車、材料車の配置で延伸し作業を行う	・マーカー車の後方には追突緩衝装置付防護車を設置 ・ハンドマーカーには後方に車両強制停止装置を設置 作業箇所の安全確保した後、作業する。 また、現場保安員はしらすんだー等を使用し、車両突入等の緊急時には速やかに現場作業員に退避行動がとれるよう合図をおくる。  テーパー部100mコーン設置し待機 ラバコン設置時は、通行車両に注意しながら設置を行う。 交通監視員は、注意喚起を行う際には通行車両に誤解を与えないように行う。
外側線設置(JIS型加熱) 車線規制設置 マーカー車、材料車の配置で延伸し作業を行う	施工終了箇所までラバコン設置
外側線・セブラ施工(標準型突起) 車線規制設置 ハンドマーカー、材料車配置 ①ランプ手前左外側線施工 ②減速セブラ施工 ③ノーズ間左外側線施工 ④加速部セブラ施工 ⑤加速部合流手前左外側線施工	作業員は、通行車両に対して正対して作業を行う。 正対して作業が出来ない場合は、監視員を設置する。 施工箇所までラバコン設置 通行車両が安全に通行できる範囲で施工する。 作業班と打合せを行い規制区間を決める。 規制切替を行わない施工する。 中間テーパー設置作業手順書を確認する。
ライン材が乾燥しているか、確認して退出する。	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。
終礼の実施	安全ミーティング日報による

## 注意事項

特殊な規制順序になるため、事前によりしっかりミーティングを行い作業を行う。  
 誤進入をさせないよう考えられる準備をしっかりと行う。  
 誤進入があった場合、安全に流出出来るよう合図をしっかりと行う。  
 施工は、可能な限り正対で行うように作業手順を考える。  
 複数の施工箇所がある場合は各々の施工場所での防護を行う。  
 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。  
 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。